

のびゆく 長崎っ子



平成19年10月3日 63号発行

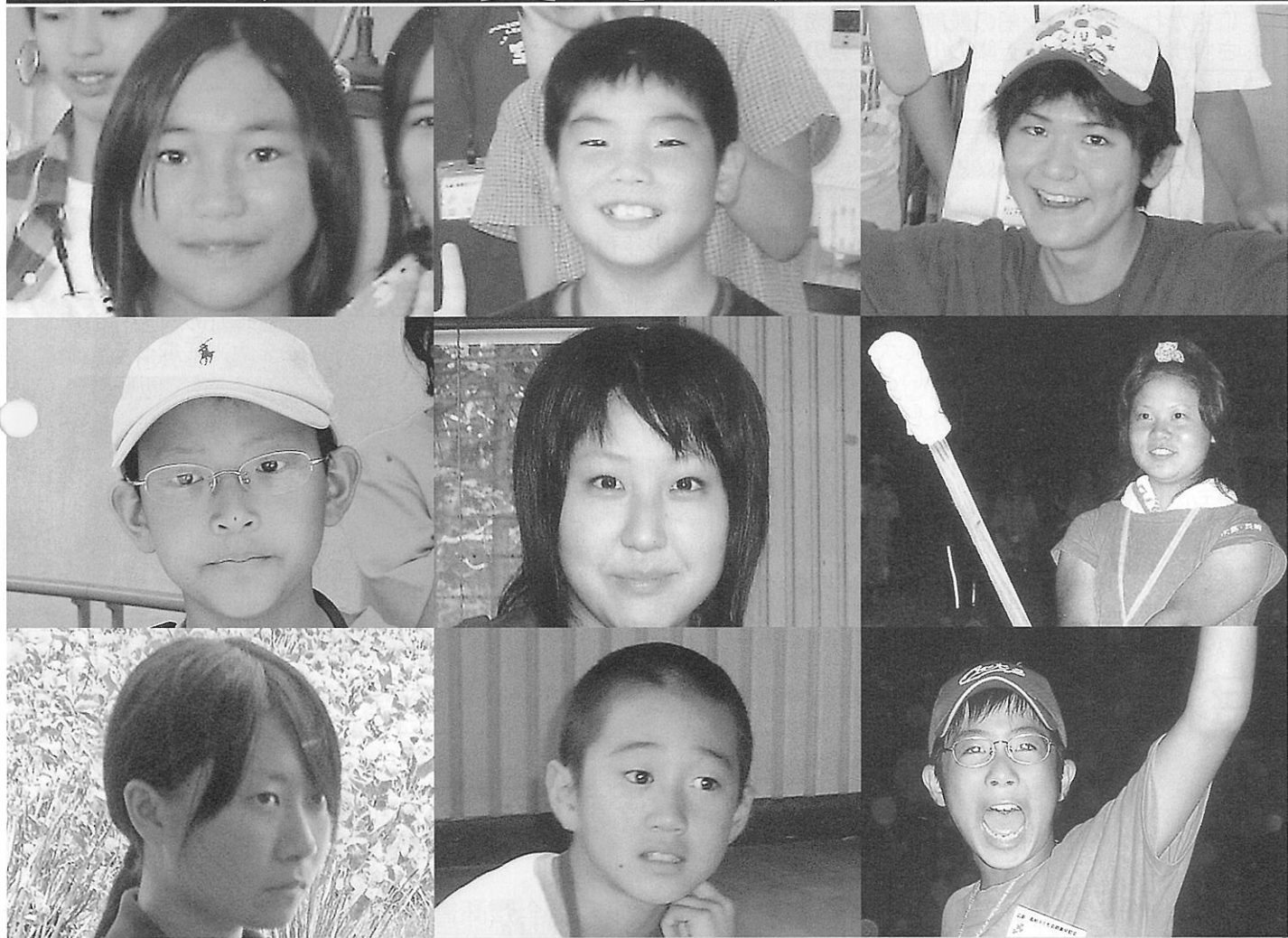
長崎市青少年育成
連絡協議会だより

今号の内容です。ぜひ読んで下さい。

- ★ 育成協かわらばん
- ★ 広島・長崎子ども会親善交歓会
- ★ 1000人ラジオ体操
- ★ ぜひ、遊びに来てね!!「子どもゆめフェス 2007」

●つなげ心と心 地域の輪 広げよう子どもの出番

きらめく長崎の子どもたち



笑った顔 一所懸命な顔 真剣な顔 面白い顔
宝石のように輝く 子どもたちの色々な顔 大切にしたい

育成協かわらばん

こどもの日ペーロン大会開催

三重小学校区青少年育成協議会 会長 大塚 芳文

三重小学校区青少年育成協議会は5月5日のこどもの日に、今年で34回目となるペーロン大会を開催しました。地区住民が一体となって、伝統のペーロンを子どもたちに体験させることにより、子ども会相互の融和と団結を図るとともに、心豊かで活力あふれる青少年を育成することを目的に毎年5月5日に開催しています。

今年は7チームが参加しました。チームは小中学生20名（うちドラたき1名）・指導員大人2名（うち舵取り1名）で編成します。例年8チームが参加してきましたが、当地区においても少子化の影響は避けられず、今後の大きな課題となっています。

各チームとも4月27日から5月3日まで陸上での練習をおこない、ペーロン船に乗っての実際の海上での練習は5月4日の午前中の2時間程度で翌日の本番を迎えます。

大会当日は、前日からの悪天候により開催が危ぶまれましたが開会予定時間直前に快復し、地区住民みな安堵した次第です。結果は優勝京泊、2位県住、3位西檜山の各チームでした。

また、この日は熱戦のあいまを利用して初節句を迎えた子どもが父親に抱かれ、ペーロン船の最前に乗込み海上をパレード、地区住民に披露されました。さらに近隣の小学生・親のために体験ペーロンの時間も用意されました。



「心のスケッチ」

小ヶ倉中学校区青少年育成協議会 会長 大岩 道子

ふれあいの場をたくさんつくろうと活動しています。その一つとして8月25日（土）「ふるさとスケッチ大会」を開催しました。子どもたちには風景を描きながら年齢を越えてふるさとを語り合ったり、当日の準備をする地域の人々の姿を目にしたりすることによって、幼い日に過ごした地域の温かさを大人になっても感じられる『人』となってほしいという願いがあります。

このような心が表現でき、心を育む文化行事も今後多く取り入れようと考えています。

子どもたちには様々な行事を通して、たくさんの人の協力があって何事も成し得ることを知り、人の思いやりに感謝し、人とふれあうことの大切さを学び、よりよい成長をしてほしいと思います。

スケッチ途中の雨も、子どもたちには考える力や大人の知恵を授かるよいチャンスとなりました。自然の中でのスケッチ大会終了後は地域の方々の思い溢れる協力により、伐採したばかりの竹でそうめん流しをし、竹の香りいっぱいの手作り器でふるさとを満喫しました。



11月25日（日曜日） 琴海、外海地区を巡回します

長崎市青少年育成連絡協議会 広報・啓発専門委員会が「青少年の健全育成」と「ココロねっこ運動の推進」を主な目的としたキャンペーン活動のため、11月25日（日）午前より午後にかけて琴海、外海地区を中心にキャンペーンカーで巡回します。見掛けましたら声をかけてください。